

令和7年度氷川町教育講演会に参加しました。

演題：「地域の災害リスクと、家族といのちを守るための備え」

講師：早田 蛭（はやた ほたる）さん

日時：令和7年7月5日（土）10:00～11:30

場所：氷川町文化センター講堂

主催：氷川町PTA連絡協議会・氷川町青少年町民会議

トカラ列島近海では地震が頻発し、氷川町が7月1日に政府から南海トラフ地震で震度6弱以上の激しい揺れの恐れがある「防災対策推進地域」に追加指定され、災害への関心が大きな時にタイミングよく防災意識を高めることができました。

【防災準備の 3ステップ】

- ①「知る」
- ②「計画する」
- ③「備える」

※関係するサイトは
下記のとおり。



講演で印象に残ったのは、高潮で命の危険に遭った方でもその後に災害の危険が生じた際は避難しなかったという現実があること。

ハード対策ができたという安心があるかもしれませんが、防災教育により危険を知り、どう行動するか考え、準備することが大切だと感じました。

①「知る」
氷川町ハザード
マップで住んでい
る地域の危険を確
認。



②「計画する」
もしもの時に慌て
ないため、マイタ
イムライン「いつ、
誰が、何をする
か」を作成。



③「備える」
キキクル（上段QR
コード）や川の防
災情報（下段QR
コード）で大雨に
よる災害発生の大
危険度を事前に把
握。



ハード対策：農地や
地域の生活や財産を
浸水から守る排水機
場、法面の修繕工事、
消防団活動



ひ の き み

2025年度
第1号
令和7年
7月10日発行
編集
竜北東小PTA
広報委員会